

S&Uだより

2025年3月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No328

十数年に一度と言われる寒波の波が押し寄せていた2月 あちこちで大雪の被害が発生していました。当社の福井本社も新潟営業所も 雪に見舞われ連日の除雪作業が続いておりました。平野部では「屋根雪下ろし」というほどの積雪ではありませんでしたが 山岳地の「豪雪地域」では 3mほどの積雪となり 日々大変な除雪作業に追われておられたことと思います。福井県の豪雪は H30 S58 S38 が記録的な豪雪といわれています。平野部でも 2m以上の積雪を記録し「屋根の雪を降ろして屋根を一回りしてくると また新雪が 50cm近く積もっている」ような恐ろしい状況でした。H30 の雪は 北陸道の脆弱さを露呈し 一日以上車が動けなくなり危険な状況でした。雪が解ければなんでこんなところで?と思うような場所でしょうか 雪になると一変します。「日本は四季があって美しい、雪景色も素晴らしい」海外からの観光客は 雪景色も楽しみで昨今は SNS の影響で 北海道だけでなく 長野や岐阜、石川など スキーだけでなく 雪の風情を楽しみに訪れる方も格段に多くなってきているそうです。去年1年間に日本を訪れた外国人旅行者は 3686 万人あまりとなり、コロナ禍前の 2019 年を 15%上回って過去最多となりました。また、去年1年間に日本を訪れた外国人旅行者が国内で消費した金額は、速報値でおよそ 8兆 1395 億円と、前の年を上回って過去最高を更新し、2019 年と比べると 69%増加しました。インバウンド需要の好調さが鮮明になる一方で、オーバーツーリズムへの対策や三大都市圏に集中する外国人旅行者の地方への誘客、さらに、空港などの受け入れ体制の整備などが課題となっていて、外国人旅行者による経済効果を高めるための取り組みが求められています。特に急増しているのが岐阜県だそうです。その背景には世界的なヒットとなったドラマの存在がありまして岐阜県内でも特に外国人旅行者が増えたのが、高山市などの飛騨地域です。このうち古い町並みが残る高山市中心部は JR の駅に



に加え、高速バスのターミナルもあり、都市部からアクセスしやすいこともあって連日、多くの外国人旅行者の姿が見られます。たさらに高山市の周囲には世界遺産の合掌造り集落で知られる「白川郷」や、長野県松本市や石川県金沢市など人気の観光地があり、「飛騨・高山観光コンベンション協会」によりますと、長期滞在する外国人にとって“観光のハブ”になっているということです。また、岐阜県を訪れる外国人旅行者が増えている背景には今、話題になっているドラマ「SHOGUN 将軍」の効果もあります。俳優の真田広之さんがプロデュース・主演を務め、ゴールデングローブ賞のテレビドラマ部門の作品賞に選

ばれるなど世界的なヒットとなったドラマ「SHOGUN 将軍」では「関ヶ原の戦い」前夜が舞台となっています。観光地に旅行者が集中し、公共交通の混雑やマナー違反などで地域の暮らしに影響を与えるオーバーツーリズムへの対策は、有名観光地など一部の自治体で始まっています。京都市では、特に路線バスの混雑が課題となっています。その対策として、去年 6 月からは通常のおよそ 2 倍の運賃で京都駅と市内の観光地を結ぶ「観光特急バス」の運行を始めました。北海道美瑛町では観光客が農地に立ち入るなどの迷惑行為が相次いでいました。町では、人の立ち入りを検知する AI を活用した監視カメラを設置し、無断侵入に対して外国語で警告音声を流し効果をあげているということです。政府としては、対策を強化する自治体などに対して財政支援を行うとともに、こうした対策の事例をほかの地域にも共有することとしています。観光客の増加による経済効果に大きな期待がかかるなかで、こちら福井県も先月 10 日に杉本知事が 嶺南地域に多くの観光客を呼び込もうと、県と地元の自治体が高級リゾートホテルなどを誘致する「若狭湾プレミアムリゾートエリア プロジェクト」という計画を発表しました。なかなか決まらない新幹線延伸ルートに弾みがつく事になるのでしょうか?

マルジン 3 月のカレンダー							<モノレールレンタル料(賃料)の一覧表>
日	月	火	水	木	金	土	
						1	「モノレールレンタル料 (賃料) の一覧表」 昨年年 10 月に追加改訂されております。 ご入用の方は マルジン (0778-27-7200) まで ご連絡ください。
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	18	20	21	22	
23 / 30	24 / 31	25	26	27	28	29	

**モノレールは使い方を誤れば、危険性の高い機械になる
大型機械は会員または協会が認定する1級モノレール技士による対応へ**

安全上の問題

モノレールは、時に45°の急斜面を走行する運搬機械であり、取扱によっては危険な機械にもなりますので、協会の技術委員会では安全を最優先させる活動を展開しております。

モノレールは、利便性の高い機械であると共に使い方を誤れば、危険性の高い機械であることを十分認識し、現場踏査（測量）、設計（ルート設定）、架設、使用前取扱講習、使用中保守管理、撤去の各段階において、安全を最優先させる施策の徹底を図っていかねばなりません。

そこで協会では、モノレールを安全な運搬手段としてより認知してもらうべく、動力車・台車・レール構造全般にわたる総合的知識を生かし安全啓発を図ってまいります。特に、大型モノレールの事故は小型モノレールの比ではありません。重大災害防止の観点から特に次の3点については会員の関与を徹底致します。

①大型機種モノレール（1.0t以上）の所有者情報の管理

大型機種モノレールの所有者情報及び管理状況の把握に努めてまいります。

モノレール技士認定制度の中でのモノレール技士による保守管理をしていくことにしております。

②現場踏査（測量）、設計（ルート設定）、架設

1t以上になると堅牢な基礎工事をしていても、30°以上の斜面になると地盤の変動の影響を受け易くなります。

会員または協会が認定する1級モノレール技士は、架設技術に関連する幅広い分野の基礎知識修得及び土木現場での学習経験により、架設ノウハウを身につけております。

架設に関しても、会員または協会が認定する1級モノレール技士を1名は現場につけるようにしてまいります。

③使用前取扱講習、使用中保守管理

単体1t以上の積込み運搬については積込み方法を適切にアドバイスしなければなりません。

会員または協会が認定する1級モノレール技士は使用者に対し、取扱講習資料に基づき納得のいく説明をしなければなりません。

運転操作に関する教育を受けた取扱講習修了者による運転操作を徹底するよう発信してまいります。